

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪医療技術学園専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/04taisayaku.html
収支計算書 又は損益計算書	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/01shikin.html http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/03jigyoyou.html
財産目録	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/05zaisan.html
事業報告書	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/img/2019jigyoyouhoukoku.pdf
監事による監査報告（書）	http://osaka.jikeigroup.net/pc/zaimu/2019/06kansa.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	医療秘書・情報学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼夜	2,250 単位時間/単位	1,845 単位時間 /単位	1,275 単位時間 /単位	210 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
	昼間		単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		88人	0人	2人	24人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度4月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80点以上、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。また、講義科目は、試験素点：70%、出席評価点：20%、レポート・授業態度・ノート等：10%。実習科目は、実習実技点：70%、出席評価点20%、平常評価点：10%とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定に則り、試験評価60点以上、授業日数の3分の2以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38人 (100%)	11人 (28.9%)	27人 (71.1%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）地方独立行政法人 大阪市民病院機構、公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院、社会医療法人 協和会 加納総合病院 等			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））医療秘書技能検定2級：受験者38名／合格者36名、 医事コンピュータ技能検定2級：受験者38名／合格者31名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90人	4人	4.4%
（中途退学の主な理由） 家庭の事情、進路変更 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	薬業科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼夜	1,965 単位時間／単位	1,770 単位時間 ／単位	1,290 単位時間 ／単位	690 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
	昼間		単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	65人	1人	3人	26人	29人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度4月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80点以上、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。また、講義科目は、試験素点：70%、出席評価点：20%、レポート・授業態度・ノート等：10%。実習科目は、実習実技点：70%、出席評価点20%、平常評価点：10%とする。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定に則り、試験評価60点以上、授業日数の3分の2以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	23人 (95.8%)	1人 (4.2%)
（主な就職、業界等）ウエルシア薬局株式会社、株式会社サンドラック、ニプロファーマ株式会社、株式会社ミリオナ化粧品、株式会社大阪製薬 等			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））登録販売者：受験者13名／合格者12名、調剤報酬請求事務専門士3級：受験者13名／合格者12名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58人	6人	10.3%
（中途退学の主な理由） 家庭の事情、進路変更 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	臨床検査技師科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,955 単位時間/単位	2,295 単位時間 /単位	255 単位時間 /単位	405 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		246人	0人	10人	31人	41人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度4月の授業開始までにシラバスを公表する。	
成績評価の基準・方法	
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80点以上、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。また、成績評価基準については臨床検査技師科教育評価規定に則り、講義時間数の90%以上の出席と試験素点にて評価する。	
卒業・進級の認定基準	
（概要）学則及び学生規定・臨床検査技師科教育評価規定に則り、試験評価60点以上、授業日数の85%以上出席等から認定を行う。	
学修支援等	
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
71人 (100%)	8人 (11.3%)	58人 (81.7%)	5人 (7.0%)
（主な就職、業界等）独立行政法人 国立病院機構 近畿グループ、大阪医科大学附属病院、医療法人 警和会 大阪警察病院、和泉市立総合医療センター 等			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））臨床検査技師：受験者71名/合格者57名、中級バイオ技術認定試験：受験者38名/合格者33名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
244 人	6 人	2.5%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸師学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	2,730 単位時間/単位	1,740 単位時間 /単位	360 単位時間 /単位	630 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		48 人	1 人	8 人	14 人	22 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教務部長と学科長が中心となり、1 月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3 月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度 4 月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) 学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80 点以上、良：70～79 点、可：60～69 点、不可：59 点以下とする。また、成績評価基準については鍼灸師学科教育評価規定に則り、講義時間数の 80%以上の出席と試験素点にて評価する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則及び学生規定・鍼灸師学科教育評価規定に則り、試験評価 60 点以上、授業日数の 80%以上出席等から認定を行う。
学修支援等
(概要) 出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	3人 (20.0%)	11人 (73.3%)	1人 (6.7%)
（主な就職、業界等）株式会社あい・メディカル、株式会社N&H整骨院グループ、医療法人 上野会 上野会クリニック 等			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））はり師：受験者15名／合格者13名、きゅう師：受験者15名／合格者13名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	4人	7.7%
（中途退学の主な理由） 家庭の事情、進路変更 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	鍼灸美容学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼夜	3,240 単位時間／単位	1,830 単位時間 ／単位	780 単位時間 ／単位	630 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
	昼間		単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
90人	52人	0人	8人	20人	28人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）教務部長と学科長が中心となり、1月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度4月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
（概要）学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80点以上、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。また、成績評価基準については鍼灸美容学科教育評価規定に則り、講義時間数の80%以上の出席と試験素点にて評価する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則及び学生規定・鍼灸美容学科教育評価規定に則り、試験評価60点以上、授業日数の80%以上出席等から認定を行う。
学修支援等
（概要）出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	6人 (75.0%)	2人 (25.0%)
（主な就職、業界等）美容鍼灸 ラ・ポータ、美容鍼灸整骨サロン アネモネ、美容鍼灸サロン ハリアット、株式会社春 四季鍼灸整骨院 等			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））はり師：受験者8名／合格者8名、きゅう師：受験者8名／合格者8名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	4人	11.4%
（中途退学の主な理由） 家庭の事情、進路変更 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	言語聴覚士学科 (昼間部)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,970 単位時間/単位	1,770 単位時間 /単位	660 単位時間 /単位	540 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	119人	0人	5人	35人	40人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教務部長と学科長が中心となり、1月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度4月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) 学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80点以上、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。また、成績評価基準については言語聴覚士学科教育評価規定に則り、講義時間数の85%以上の出席と試験素点にて評価する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則及び学生規定・言語聴覚士学科教育評価規定に則り、試験評価60点以上、授業日数の85%以上出席等から認定を行う。
学修支援等
(概要) 出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	3人 (10.0%)	19人 (63.3%)	8人 (26.7%)
(主な就職、業界等) 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪急性期総合医療センター、公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院、医療法人社団 行陵会 京都大原記念病院 等			
(就職指導内容) キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 言語聴覚士：受験者30名/合格者22名、サービス接遇検定3級：受験者30名/合格者27名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
122 人	13 人	10.7%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情、進路変更 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	医療心理科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,610 単位時間/単位	1,890 単位時間/単位	1,440 単位時間/単位	240 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		82 人	0 人	4 人	20 人	24 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 教務部長と学科長が中心となり、1月までに次年度年間授業計画と時間割を策定。3月に講師会議を開催し、担当講師へシラバス作成を依頼・回収。新年度4月の授業開始までにシラバスを公表する。
成績評価の基準・方法
(概要) 学則及び試験規定に則り、試験の成績・平素の学習状況・出席状況等を総合して評価し、優：80点以上、良：70～79点、可：60～69点、不可：59点以下とする。また、講義科目は、試験素点：70%、出席評価点：20%、レポート・授業態度・ノート等：10%。実習科目は、実習実技点：70%、出席評価点20%、平常評価点：10%とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則及び学生規定に則り、試験評価60点以上、授業日数の3分の2以上出席等から認定を行う。
学修支援等
(概要) 出席不良者に対しては個別で面談等を行い、保護者とも連絡・連携を図り、継続的に指導する。また、必要に応じて学則に基づき補講等を行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	26人 (96.3%)	1人 (3.7%)
（主な就職、業界等）社会福祉法人 四天王寺福祉事業団、社会福祉法人 ふれあい共生会、社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団 等			
（就職指導内容）キャリアセンターと担任が中心となって個別面談を繰り返し、就職試験対策・支援を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等））メンタルヘルスマネジメントⅢ種：受験者 27 名／合格者 20 名、色彩福祉検定 3 級：受験者 23 名／合格者 20 名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
83 人	7 人	8.4%
（中途退学の主な理由） 家庭の事情、進路変更 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生本人との面談や保護者への連絡、課外活動でのクラスづくり 等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療秘書・情報学科	100,000 円	900,000 円	70,000 円	教育教材演習費
薬業科	100,000 円	900,000 円	80,000 円	教育教材演習費
臨床検査技師科	300,000 円	1,000,000 円	285,000 円	実習費 教育教材演習費
鍼灸師学科	200,000 円	900,000 円	375,000 円	実習費、設備費 教育教材演習費
鍼灸美容学科	200,000 円	1,000,000 円	375,000 円	実習費、設備費 教育教材演習費
言語聴覚士学科 (昼間部)	200,000 円	1,000,000 円	270,000 円	実習費、設備費 教育教材演習費
医療心理科	100,000 円	900,000 円	75,000 円	教育教材演習費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ocmt.ac.jp/gakko/jyouhou/ 「自己点検自己評価と学校関係者評価」
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校法人大阪滋慶学園として、学校関係者評価委員会規程を定め実施する。評価委員会は、「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて実施する自己点検・自己評価に対する客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることを基本方針とする。委員会には、学校長や教務部長・学科長などとともに関連業界・地域・高等学校関係者・卒業生・保護者などが委員として参加している。また、委員会でいただいた評価や意見については、今年度または次年度に改善が図れるよう教務部長と各学科長が中心となって取り組んでいく。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
一般財団法人住友病院 医事室室長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
株式会社協和商事 取締役社長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
ウシジマ鍼灸院 院長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
大阪府臨床検査技師会 常務理事	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
奈良県言語聴覚士会 理事	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
NPO法人 東成精神障害者を支える会 理事長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	企業等委員
大阪市北区堀川連合振興町会 会長	平成31年4月1日～令和2年3月31日	地域
こんだ直人教育研究所代表(元平野高校教頭)	平成31年4月1日～令和2年3月31日	高等学校
卒業生	平成31年4月1日～令和2年3月31日	卒業生
卒業生	平成31年4月1日～令和2年3月31日	卒業生
保護者	平成31年4月1日～令和2年3月31日	PTA
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ocmt.ac.jp/gakko/jyouhou/ 「自己点検自己評価と学校関係者評価」		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ocmt.ac.jp/
--